

中央西地域包括支援センターだより



今月のテーマは『高齢者虐待』についてです。

★虐待とはどのようなことでしょうか？

終わりの見えない介護や世話に追い詰められ、高齢者を叩いたり怒鳴るなどの傷つけてしまう行為を「虐待」といいます。

様々な虐待のサイン

- * 家から怒鳴り声や物を投げる音が聞こえる
- * 高齢者がお風呂に入っている様子がない
- * 高齢者に話しかけても反応が薄く、無気力な様子がある
- * 介護者がひどく疲れて見える
- * 介護者が他人の心配や介入を嫌がる

…など、サインは様々なものがあります。

★虐待を見つけたら

自分自身や周りの方で、「もしかして虐待かも？」と思うことがあれば、ひとりで悩まずご相談ください。

* 相談者の個人情報を守られます。匿名での相談も受け付けています。

☆相談先

松本市役所高齢福祉課 (☎34-3061)

松本市役所西部福祉課 (☎92-3002)

中央西地域包括支援センター (☎38-3310)



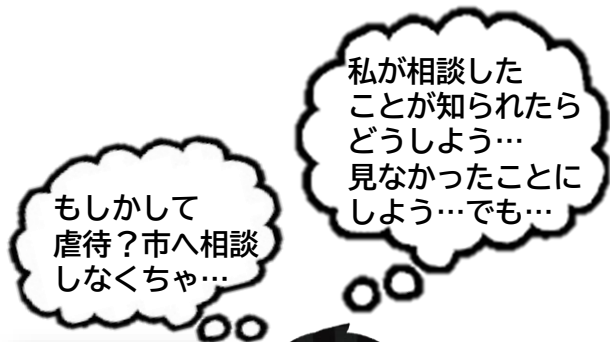
「虐待をしている人＝悪者」ではありません

虐待はどんな家庭でも起こる可能性がある身近な問題です。

例えば、介護疲れやストレス、介護の知識不足、経済的な不安、家族間の関係性、親族・地域からの孤立など、様々な事情が絡みあって起こっています。



【裏面あり】



「もしかして虐待かも？」と考えると相談をためらってしまいますよね。

でも安心してください。

相談先の市役所や地域包括支援センターには厳重な守秘義務があるため、どなたからの相談かを漏らすことは決してありません！

安心してご相談ください。



地域の皆さんへ

虐待を防いだり、早期発見するためには皆さんの「気づき」と「早めの相談」が大切です。

心配な人がいた時は、ためらわずに市役所や地域包括支援センターにご相談ください。



市・地域包括支援センターによる高齢者虐待対応

高齢者虐待の対応において根拠となっている法律は、一般的に『高齢者虐待防止法』と呼ばれている法律ですが、正式には『高齢者に対する虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律』と言います。

法律にも掲げられているように高齢者の命や安全、権利を守ることは当然ですが、養護者(介護者等)が抱える背景や課題にも目を向け、日常を取り戻すことを目標に、高齢者・養護者双方の支援を行います。

認知症思いやり相談会のお知らせ

認知症を専門とする医師に無料で相談することができます。

予約は相談日の2週間前までにお願いします。(先着順)

日時:令和8年3月13日(金) 午後1時30分～4時30分

会場:松本市役所本庁舎北別棟1階 高齢福祉課 相談室

【予約・お問い合わせ先】

松本市高齢福祉課 福祉担当(電話 34-3237)

または、お近くの地域包括支援センターまで

中央西地域包括支援センター(高齢者の総合相談窓口)

電話 38-3310 FAX 32-3060